

# 資料7 野網

## 子どもの発達段階・第2言語習得理論、CEFR から見たカリキュラムデザインと TOSS 最新課題

英会話授業導入 8ヶ月半週1時間の授業、「習ったダイアログなら自由に引き出し使える」(向山浩子氏) 英語回路のできた子どもの事実 (拙実践・2005年) 多様性には欠けるが②徹底性はある。会話の順序を決めない、単語を自由に子どもに言わせるが課題この時点では後に TOSS で主流となる「固有名詞の活用」は考えられなかった。

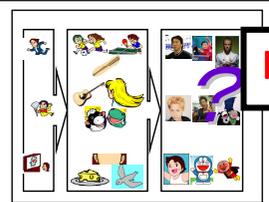


図1

CEFRは児童の能力差を考慮し、やや低めに設定した。語彙数がそれに反して高めなのは、下位概念の単語が多いからである。例えば大人ならば animal 語でも会話は可能だが、子どもは dog, cat, rabbit 等たくさん言葉が必要とされるからである。

ベトナム・ハノイ国家外国語大学日本語学科生との交流。①拙授業向山氏追試「俳句の授業」(菜の花や月は東に日は西に/与謝蕪村) ②Face Book で帰国後も交流、次回訪越への布石。③Voice Link で野網チーム「海外チャンネル」ベトナム・ハノイ学生との交流 (第1回4.8~第9回7.15毎週)。日本文化を日本語で紹介する番組に取り組んでいる。

小学生の孫たちと英語で会話も可能。Voice Link で日本内外の小学生と話せる。「方略的コミュニケーション」も使う。

	幼児	小1~2	小3~4	小5~6	中学	高校	大学	青年	中	シニア	
Voice Link	ゼー/幼児教育	TOSS 教育チャンネル (オンラインで学校授業)				学校・地域・企業との交流部屋 (潮)		地域社会との連携 国際 TOSS 大学 (構想)			
E-pencil	音声・画像同時入力	不登校児に向けたイト Think Board				「親学」アプリ					
社会性	自分	自分と先生	自分と友だち	集団の中の個としての自分							
知的発達段階	仲やり理論 課題	具象物で時系列に物事を思考。長く話すが第一歩	具象物から論理的思考ができるようになる	具象物だけでなく、論理的思考ができ、上位概念語を用いての抽象的思考ができるようになる	第2反折期 アイデアティ						
TOSS 型英会話指導法	CEFR	A0 身近な単語 たくさん知る	A1 簡単な自己紹介ができる。ゆつたりした会話	A1~2 自己紹介、ゆつくりした会話、家族、近所、買い物などの基本的な表現が理解できるし話せる。自己紹介ができた、近況の報告ができ、簡単な論議ができる	A1~B1 日常生活大抵できる。海外留学も		B2 専門分野で抽象論 ネイティブとも話せる				
	語彙数	100 語 (理解程度)	300 語 (理解程度)	800 語 (理解程度)	1500 語 (理解程度)		3000 語 (理解程度)		8000 語 (理解程度)		
	単語	果物、動物など	色・数・形、動物、果物・野菜・菓子、食・物、好き	様々なダイアログ指導の言・換えの単語、形容詞。	日本語文化、世界道徳に関する単語、意見感想を尋ねる感情の形容詞、上位概念語の活用		抽象概念の単語		専門的・学術的単語		
	ダイアログ	挨拶、お名前など	2文~4文ダイアログ、自己紹介、Do you like~? 日常表現、名前や、好きなものを言う。	2文~6文ダイアログ、5W 1H の疑問文、特に What 名詞、Where How が使える。	4~10文ダイアログ・ダイヤモンドダイアログで様々なトークや論議が可能になる。		概ら意見・感情を述べるダイアログをマスター。論議的論議可		All in English での授業で抽象思考や論議、世界と話すイメージ。		
アクティビティ	手遊び、リトミック、Simm says 等	単語中心のアクティビティやゲーム、絵本やカードで単語を教えその後から等	ロールプレイが楽しくなる時期、お店ごっこ・道案内、絵本で単語等	ゲームの勝負より話す楽しさを教える。高学年は「言いたいこと」があっても内部情報の蓄積がない、わくわくずかんをむ」如く活用子どもが自主的に積極的に語彙を増強していく。		文字を用いたアクティビティ、論議や日常生活・学問		ディベート、討論、4分野のバリエーションの取れたアクティビティ			
観光教育	まち探検	子ども観光大使 外国人に自分たちのまちを紹介				子ども観光大使		子どもへの協力		子どもへの協力	
領土	絵本、かるた	領土絵本、領土英語かるた	領土作文、領土英語かるた	「領土」自分たちの意見、英語で賛成反対、事実の学び、ただし、論議はあくまでも英語の勉強、教室の中ですることで、外国人との安易な政治的議論を避けるように子どもにメンタル面を指導する		英語で討論、メンタル面も指導、進捗観察		親近感、相互に		自分の意見をもち小学生と話す。時には英語で語ることもあってよい。難しい専門用語を一緒にHP で調べてみる等。	
エネルギー	でんき	寒暑、天気の話ができる	天候や自然の話ができる	英語で意見が言える、専門的な言葉が必要な時は「英語わくわくずかん」で調べる。		ダイヤモンド・ダイアログ・論議的ダイアログで意見が伝わり、固有名詞も、下位子どもは喜ぶ		親近感、相互に		子どもと「個性」について話し合う。	
特別支援教育	じゃんけんであそぼ	じゃんけんで見え方を仕組む	単語アクティビティで遊ぶ	ダイアログ・ダイアログ論議的ダイアログで意見が伝わり、固有名詞も、下位子どもは喜ぶ		親近感、相互に		子どもと一緒に先祖さまの話をする。日本の悠久の歴史に文化人も存在することを話す。			
親学	だれがうまれたの	英語で家族を紹介しよう。	英語で話そう。家族の日常	親近感、英語で家族に話してもらったことを語る。英語はそれほど簡単な気持ちで表現できる。		親近感、相互に					
日本伝統文化	にほんのくに	日本の伝統文化・伝統行事を英語で語る子ども 外国人に自分たちの伝統芸能 (歌舞伎、美術等) を紹介				子ども観光大使					
食育	ごはんたいすき	好きな食べ物で英語で言える。友達とも尋ねあえる。	好きな食べ物で対して答えたりでき、和食を説明できる。	食・物の由来、料理の仕方、食・物のどこから来たのか英語で話そう。和食 (だし・醤油等) について説明したり質問したりできる。		食・物の由来、召喚料理について話す。					
ボランティア教育	なごきができるかな	自分の得意なことを話す	自分のできることを話す	総合的な学習との関連で、困っている人を手助けするために何が出来るかできることを話す。質問し合う。		ボランティアの意義、自分のできることを話す					
郵便教育	おてがみかこう	絵を描いて紙芝居お手紙	時候の挨拶英語でできる。	日本語での正しい手紙の書き方を学んだ上で、更に外国への手紙の出し方を学ぶ。		海外の有名人にファンレターを出す					
向山型他教科指導	シングルエイジ教育	向山、向山等で授業を受けられる子どもを育てていく。	現小4年の国語教科書エニリクカール権の物語、この原稿紙に中3英語教科書にある。向山の文調理解のコードを用いて、向山型分組授業を進める。また、向山や向山、向山の英語での授業を受けられる子どもを育てていく。(構想)			中学で各教科の英語授業を始める					
湘ミスター+加藤	世界地図 日本はよい国	世界地図 「日本はよい影響を与えている」 東南アジア・韓国・ミャンマーについて英語で知る。英語でこれらの地域、国を説明したり話したり、また友だちの話を聴いて質問したりする。				東アジアについてディベート討論をする		より専門的に、東アジアについてディベート討論をする		討論	

第2言語習得の鍵は「インプット」+「アウトプット」の必要性。話したいと頭の中で「リハーサル」(脳内言語)をする。日本を語ることは自らのアイデンティティを語ることになる。拙実践の What's ~ famous for ? は故郷自慢をすることで子どもへのモチベーションが大変高まり、子どもが話したかった。日本について語ることも同様だ。モチベーションが高まり学習効果が上がります。

第2言語理論 (SLA) インプット+アウトプットで、「自動化」(意識的に学習、無意識に話そうようになる)で話せる。これは、TOSS 型指導とよく似ている。TOSS 型の素晴らしい点は、アウトプットに①擬制状況に基づいた楽しいアクティビティがあること②話せるためのスモールステップを入れてあること(口頭練習→アクティビティ)である。

図2 固有名詞の有効活用。インプット (英語) のない未知単語もアウトプット (固有名詞=日本語) が可能。(2006年6月拙実践) 内部蓄積は少ないが英語を話したい子どもが自分の「言いたいこと」を話す苦肉の策。後に TOSS フリートークの主流となる。

CEFR (ヨーロッパ共通進歩指標)... A1 具体的な欲求を満たすため、よく使う日常生活や基本的なフレーズを理解し使うことができる。自分や他人を紹介でき、住所、知、持物などの個人的な情報について、問津や回答ができる。手短かにゆつくり明確に話し、進んで動けばいい。簡単なやり取りができる。② 最も得意な領域に関する、よく使われる表現を理解できる。例: 基本的な目的や興味、趣味、ショッピング、地の理、職、最近よく使われること、単純な質問の答えられる日常会話におけるコミュニケーションがある。目的や状況に応じた、進んだ必要知識や知識の理解、簡単なフレーズで説明できる。③ 仕事、学校、娯楽などで通常会話する身近な事項について、明確な理解で話したり必要に応じて簡単な質問を返したりして進んで行ったりできる。また、たいくつで説明できる。進んだ目的の理解の知識について、簡単な話や文章を作ることができる。絵、出来、夢、希望、夢を説明し、意見を述べたり、意見を述べたりできる。TOSS 型なら高レベルまで子どもは進む。

### アニヤンゴ氏教科書インタビュー

氏の話す英文は拙提案に合致する。インタビューに限らず、一般的な会話に「多くのまとまったことを話す人」と「尋ねる人」で構成される。それを意識的に授業化したものが「プラネット・トーキング」である。

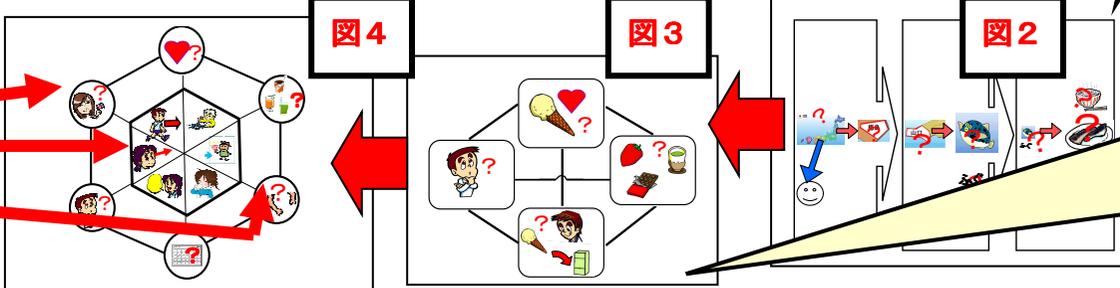


図3 上記、図1から1年、2年次 55 時間目の授業で「ダイヤモンド・ダイアログ」で162文 (6分間程度) 子どもが話した拙実践 (2009.2月)。図4 これを更に「1人がまとまった教文を話した後、Q & A がエンドレスに続く」プラネット・トーキングを提案する。子どもが外国人と出会った時、自らを語れる子どもに育てるための授業である。

### CEFRの目安

CEFR	英検	公益財団法人 日本英語検定協会 主任研究員 Jamie Dunlea Dunlea, J. (2009). 「英検とCEFRの関連性について Part 1」, STEP 英語情報 11・12月号   Dunlea, J. (2010). 「英検とCEFRの関連性について Part 2」, STEP 英語情報 1・2月号   上記研究物より引用
C2	—	
C1	1級	
B2	準1級	
B1	2級	
A2	準2級	
	3級	
A1	4級	
	5級	